

2018年2月1日
明治大学

本学体育会水泳部所属学生の資格停止処分について

本学体育会水泳部所属学生が、第93回日本学生選手権水泳競技大会において、ドーピング検査で陽性となり、資格停止処分となったことを受け、本学として当該事案を重く受け止めており、改めて関係者の皆様に心からお詫びを申し上げます。

本学では今後、体育会に所属する学生に対し、アンチ・ドーピングに関する講習会を強化して実施していくほか、恒常的にアンチ・ドーピング教育が行える体制を整え、同様の事案を発生させないよう、再発防止に努めてまいります。

明治大学長

このたびの事案に対し、水泳部の指導者として心からお詫び申し上げます。日本水泳界初のドーピング事例となり、部の運営や選手の管理指導責任を持つ者として心から反省をしております。

現在は、再発防止策として全部員の医薬品およびサプリメントの摂取状況を把握し、管理しております。また、学生のアンチ・ドーピングの知識向上と危機管理徹底のため、アンチ・ドーピング教育や規律順守などを行ってまいります。さらに定期的にスポーツファーマシストなどの専門家による勉強会を実施するなど、一層の再発防止を徹底してまいります。

明治大学体育会水泳部部长
明治大学体育会水泳部監督